

第3回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和6年2月14日(水) 15:40~17:10

2 場所 笛吹高等学校 理科講義室(南館3階)

3 学校運営協議会

次第

司会(教頭1)

(1) はじめのことば (司会)

(2) 学校長あいさつ

(3) 議事

① 学校評価・年度末評価の結果について (教頭2)

※令和5年度学校評価報告書の自己評価について説明

笛吹市教育委員会教育長様：学校評価については小中学校でも実施している。項目は11~29が適切といわれているが、中には50を超える項目を設定している学校もある。笛吹高校の学校評価の項目は大きく5つの柱となっており、項目も適切で大変わかりやすい

山梨学院短期大学教授様：ヘルメットの着用がなかなか向上しないというお話だが、なぜ生徒はヘルメットをかぶらないのか。おしゃれなデザインで生徒がかぶりたくなるようにならないものか。危険から身を守るということを繰り返し周知していくことが必要

学校長：現在生徒会が中心となり、ヘルメット着用を向上させる取り組みを行っている。マナーアップなど取り組みをしている日は着用率が高いが、次の日になると着用率が低くなる傾向がある。先生方も啓発カードを持って登校指導を行っているが、継続して指導していきたい。

石和南小学校長様：通勤途中で他校の高校生とすれ違うことが多いが、他校の高校生もかぶっていない。多分全体的に高校生のヘルメット着用率は低いのではないかと。中学生はヘルメットをかぶっている。先ほどおしゃれなヘルメットの話がでたが、高校生のヘルメットは中学生のように白いヘルメットではなく、自由と聞いている。その点では十分おしゃれだと思う。警察と連携しながら着用率を上げる取り組みが必要

② 学校運営についての報告 (学校長)

※令和5年度の学校運営について説明

学校運営協議会会長様：10月に保護者のための保護者進学説明会に協力した。中学生の保護者がざっくばらんに質問できる機会となり、実施してよかったと思う。もう少し認知度が上がれば、中学生の保護者の参加が多くなると期待している

PTA 会長様：同じく保護者説明会に協力した。中学生の保護者にお話をするのに、笛吹高校の魅力について言葉にするために考えてみて、改めて笛吹高校は魅力的な学校であると実感した。認知度が上がると良いと思う

笛吹市教育委員会教育長様：「社会で生きる力を身に付ける」とのお話があったが、笛吹市教育委員会でも小中学生に「生きて働く力」を身に付けさせたいと目標を掲げている。義務教育から高校へのつながりを持たせたい

学校運営協議会会長様：FF グローカルで行われている「ももりんプロジェクト」について関わっているの、少しお話をさせていただきたい。7月に生徒と対話した時に、イエローハットから笛吹スマートインターまでに何もないので、何かできないか考えた。生徒からは「硬いもも」を観光客に知ってもらいたいなどの意見がでた。自販機を設置しようと考えたが、課題が出てきた。大人の力が必要ではないかと思い、先生方に相談したところ、生徒が課題を自分たちで乗り越える経験をさせたいということから、見守ることとした。その後、いろいろ検討して、みさかの湯で笛吹高校で作ったものを売ることができないかということに落ち着いた。しかし、野菜は難しい、果物はだめ、漬物も売ることができないことから、ソフトビスケットにしようということまで現在進行中である。笛吹市からもいろいろなアドバイスをいただいている

笛吹市様：令和6年度は笛吹市が20周年を迎えるので、いろいろなことを考えている。令和6年度は台湾へシャインマスカットの販売に行く予定である。生徒と一緒に行くことを考えている。先ほどみさかの湯でソフトビスケットの販売を考えているというお話があったが、進めて良い。パッケージまで生徒がするのが難しかったら、民間企業を巻き込んで連携しても良いのではないか。同窓会として、学校の教育費を寄付したいが、なかなか厳しい。現在クラウドファンディングを計画している。学校で作った果物をもとにクラウドファンディングでお金を集めて、その資金を学校の教育に生かしたいと考えている

山梨学院短期大学教授様：先ほど民間企業との連携の話があったが、連携の際は生徒の雇用につながるような取り組みとなれば生徒にも企業にも良いと思う。

農業協同組合指導部様：現在果樹園芸科の生徒にシャインマスカットの指導をしている。もし必要であれば、ももや他品種のぶどうの指導も協力できる。生徒が地域の課題解決について探究している話だが、R4年度は地域のももの盗難が相次ぎ、本校生徒が何かできないかと考えてくれて、盗難防止を呼びかけるプレートを作ってくれた。地域の課題に対して真剣に考えてくれたことがうれしかった。継続して進めてほしい

③ 来年度の学校運営協議会分科会について（教頭2）

※令和6年度は分科会として

- 1 地域連携チーム・・・各教科、FFGなどの地域連携に協力いただく
- 2 評価検証チーム・・・FFGの評価に関わる指導助言をいただく
- 3 広報チーム・・・学校の取り組み等を校外へ発信・周知に協力いただく
- 4 拡大いじめ対策チーム・・・いじめ対策に関わる指導助言をいただく

を提案したい。他にも必要な分科会があれば、御意見をいただきたい

承認

④ 各学校運営協議会委員からの助言

地域代表様：地域の一員として毎日学校の様子を見ている。登校時の先生方の声かけがとても良い。それでもヘルメットの着用率を向上させることは難しい。下校時は校門から飛び出す生徒がずいぶん減った。学校が設置した飛び出し防止のためのものに効果がある。ながらスマホも以前に比べて減ったと感じる。フェスタに参加したが、地域との良いつながりができ

ていると思う。すいれき太鼓部の知名度はとても高い。地区で招待して演奏してもらった。お年寄りはとても楽しみにしている。今年も演奏してもらいたい。植物研究部の絶滅危惧種に関する研究も素晴らしい

PTA 会長様：本日高校生世界遺産サミットを参観した。生徒が探究学習で地域の課題に取り組んだり、自分の言葉で説明したりしている姿が印象的であった。本校の学校運営協議会では、いつも新しい情報が得られる。研修等先生方が学ぶ機会を多く持ちながら取り組んでいることも良くわかった。同窓会ですいれき太鼓部の演奏を聞いたがとても良かった。先ほど市長からお金の話がでたが、PTA でもチャリティやバザーで協力できるところは協力していきたい。学校評価の保護者アンケート結果を見たが、わからないと回答している数が多いことが気になる。私は PTA 会長として学校に足を運ぶ機会が多いので、学校のことが良くわかるが、そうでない保護者にももっと情報が伝わると良い。例えば、Classi でホームページにこんな記事が更新されました⇒URL からホームページにとんで情報が得られるなど工夫をお願いしたい

山梨学院短期大学教授様：私が高校の頃とは違って授業が変わった。課題をどう解決するか考え、話し合う、生きていくためにはそのような力が求められると思う。高校生世界農業遺産サミットでグループディスカッション⇒発表が行われていたが、どのグループもだいたい同じ意見が出ていた。しかし、中に 1 人 2 人は違うアイデアをもっていたり、良いアイデアをもっている生徒がいると考える。そのアイデアを提示したり、解答はないが模範的なものを提示して共有することで、そういう発想もあるのか・・・と気づく生徒もいるだろう。そこから探究が深まる生徒もいれば、良いアイデアを持っている生徒をひろって伸ばすこともできる

学校長：本日こんなにたくさんの参観者に来ていただけて良かった。参観者も生徒のグループに入っていたら良かった

笛吹市教育委員会教育長様：主体的に学習に取り組む、地域に関わる生徒づくり、地域の高校としての存在感がある。小中学校との連携も更にお願したい。本日のサミットでは学習者主体、生徒が進行していて良かった。私は 1 年 4 組の教室を参観した。なぜかという先生の板書が良かった。生徒への声かけも適切だった。フィードバックの仕方も良かった。教師の声かけで生徒同士の交流も円滑になる

農業協同組合指導部様：果樹園芸科の生徒が農家で実習することを是非願いたい。生徒が実際に農家で学ぶことで農業をやろうとする生徒が増えることに期待したい。農家も若い高校生からエネルギーをもらえて良い取り組みと考える

笛吹青年会議所理事長様：社会的にもいじめの問題がある。いじめ撲滅の取り組みとして笛吹高校の取り組みを参考にしたい

石和中学校長様：本校でも社会で生きる力を身に付けさせたい。自立、学力と人間力を生徒に育む教育を行っている。みんなと話をする中で、より良い答えを見つける、発信する、対話する時間が大切と考える

石和南小学校長様：小学生と高校生がつながれることはないかと先ほどから考えていたが、太鼓があると思った。石和南小学校には 40 年の歴史を持つ「こじんや太鼓」があって、小学校 4 年生から入ることができる。すいれき太鼓部と是非つながりたい。高校生から太鼓を学ぶことができると良い刺激になる

(4) 今後の予定

※令和 6 年度第 1 回学校運営協議会は 4 月 30 日（火）16:00～

5 おわりのことば